



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

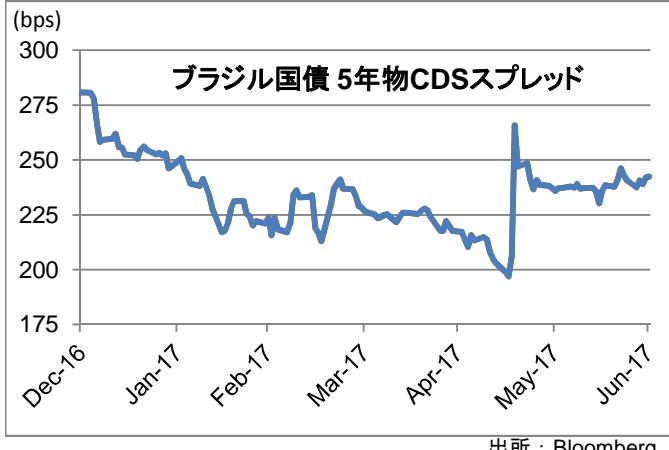
			6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2970	3.3140	3.2800	3.3030	3.3080	+0.0050
	BRL/JPY	Spot	33.93	33.90	34.24	33.94	33.97	+0.03
	EUR/USD	Spot	1.1183	1.1337	1.1379	1.1441	1.1426	-0.0015
	USD/JPY	Spot	111.86	112.33	112.29	112.11	112.39	+0.28
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.99	8.99	8.97	8.97	8.92	-0.0560
	Future	1Year(p.a.)	8.85	8.84	8.83	8.83	8.76	-0.0679
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.358	2.289	2.223	2.162	2.215	+0.053
	USD	1Year(p.a.)	2.499	2.427	2.355	2.285	2.348	+0.063
株式	Bovespa指數		62,188.09	61,675.46	62,017.97	62,238.95	62,899.97	+661.02
CDS	CDS Brazil 5y		237.50	240.73	238.95	242.30	242.29	-0.01
商品	CRB指數		168.569	170.013	170.975	171.886	174.78	+2.890

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデックスです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルはECBや英中銀による金融緩和縮小を巡る発言に左右される展開。
- 週初のレアルは3.3390で寄り付いた後、弱い米経済指標を受けたドル売りの流れで堅調に推移した。27日、ECBのドラギ総裁による量的緩和縮小を示唆する発言でユーロが上昇。ドルの買い戻しも進みレアルは軟調な動きに転じた。その後、複数のECB関係者がドラギ総裁の発言が誤って認識されていると発言。これを受けたレアル買い戻しの動きから週間高値の3.2730まで上昇したが、英国やカナダの中銀からも金融緩和縮小の発言が出る中で売り戻され、結局3.3080で越週となった。なお、週初にテメル大統領が収賄容疑で起訴されたが、審理開始へのハードルは高く、市場の反応は限定的だった。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.40%から0.39%へ、2018年は2.20%から2.10%へ下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.64%から3.48%へ、2018年は4.33%から4.30%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.30から3.32へリアル安方向に修正されたが、2018年末は3.40で据え置かれた。
- 28日夜、労働法改正案が上院の憲政委員会(CCJ)において賛成16票、反対9票で承認された。同改正案は早ければ来週中に上院本会議で採決が行われる可能性があり、最終的には可決されるものと見られている。
- 29日、伯中銀と財務省で構成される伯国家通貨審議会(CMN)は、現在4.5%としているインフレ目標について2019年以降の目標を引き下げた。2019年を4.25%、2020年を4.00%とし、それぞれ±1.5%の幅を設定。インフレ目標の下方修正は広く予想されており市場の反応は限られた。
- 30日、5月の伯全国失業率が発表された。13.3%と前月の13.6%から低下し、予想に反して2ヶ月連続で改善。2年5ヶ月振りに前月から低下した4月分に続き、経済の回復を裏付ける内容となった。

3.今週のチャート&ハイライト



連邦検察庁がテメル大統領を収賄容疑で起訴

今週、連邦検察庁はテメル大統領を収賄の容疑で起訴した。最高裁での審理開始には下院で3分の2の賛成が必要であり、連立与党は審理開始を阻止可能と見ている。下院議会は7月後半の休会前までに審議、採決を行うとしているが、仮に最高裁で審理が開始されれば大統領は最長180日間の職務停止となる。今後も捜査妨害など他の容疑での起訴が続く可能性が残る中、年金改革審議が遅延するとの警戒感はさらに高まっている。レアルは軟調な動きが継続しているほか、ブラジル国債のCDSスプレッドはテメル大統領の汚職関与疑惑が発生する前を上回る水準が続いている。



4.来週の為替市場注目点

予想 ドル・レアル相場レンジ：3.25—3.40

来週のレアルは軟調な動きを予想する。テメル大統領に対して更なる起訴が行われる可能性が残る状況下、政治問題が長期化することによる年金改革審議遅延への警戒感は引き続き高く、レアルは弱含みに推移するものと見込む。また、7日には6月伯インフレ率(IPCA)が発表予定。市場では前年比+3.06%まで低下すると予想されており、伯中銀の利下げをサポートするインフレ率の動向について内訳に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	全国失業率	13.6%	13.3%	13.6%
ブラジル	基礎的財政収支	-27.7b	-30.7b	13.0b
ブラジル	Nominal Budget Balance	-66.0b	-67.0b	-15.4b
ブラジル	純債務対GDP比	48.1%	48.1%	47.7%
米	個人所得	0.3%	0.4%	0.4%
米	個人支出	0.1%	0.1%	0.4%
米	PCEコア(前月比)	0.1%	0.1%	0.2%
米	ミシガン大学消費者マインド	94.5	95.1	94.5

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/3	CNI設備稼働率(季調済)	May	--	76.7%
ブラジル	7/3	総輸入	Jun	\$12900m	\$12131m
ブラジル	7/3	総輸出	Jun	\$19900m	\$19792m
ブラジル	7/3	貿易収支(月次)	Jun	\$7000m	\$7661m
ブラジル	7/4	鉱工業生産(前月比)	May	0.6%	0.6%
ブラジル	7/4	自動車販売台数(伯自販連)	Jun	--	195568
ブラジル	7/5	商品価格指数(前月比)	Jun	--	2.93%
ブラジル	7/6	自動車生産台数(伯自工会)	Jun	--	237060
ブラジル	7/6	自動車販売台数(伯自工会)	Jun	--	195562
ブラジル	7/6	自動車輸出(伯自工会)	Jun	--	73426
米	7/6	ADP雇用統計	Jun	190k	253k
ブラジル	7/7	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	Jun	-1.22%	1.07%
ブラジル	7/7	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jun	3.06%	3.60%
米	7/7	非農業部門雇用者数変化	Jun	177k	138k
米	7/7	失業率	Jun	4.3%	4.3%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。